ぴらたんニュース 6

2016

京都にちなんだ話題をお届けします。

京 style

「おため」「おうつり」

今月は「おため」「おうつり」についてです。こういった作法は京都だけではなく全国にみられます。ただし、大阪や滋賀など一部の地域を除いてはお金を返すという風習はないようです。ご近所からお菓子などを頂いた時、その器に半紙を入れて返すといったことはどこの地方でも見られますが、その時の半紙のことを「おため紙」と言い、「溜め紙」「御為」とも書きます。また、「移利紙」とも言い、婚礼時のものに限っては「夫婦紙」「和合紙」とも言われています。今日では、わかりやすく紙のことを「ため紙」、一割を封入するお金を包む紙のことを「うつりの金封」と呼んでいます。京都では、結婚・出産・新築などのお祝いを頂戴すれば、一帖（二十枚）の半紙と共にお祝い金の一割を金封に封入し、その場で先様の広蓋や進物盆に入れてお返しします。おため紙をお渡しするということは、「当方に祝い事があれば、今お渡しした紙に包んでお祝いしてください」ということを表現しており、「お宅様と当方とは、これから先も縁が切れないよう、お付き合いを続けていきましょう」という思いを半紙一帖に託しているのです。一割を封入した「うつり」の金封も同じで、「当方の慶び事の縁が、お宅様にもうつりますように」といった意味が込められています。また、祝い金の一割を封入することは、返礼として頂いた「おうつり」の金封の中に千円札が入っていれば、間違いなく先様に一万円のお祝いができたという確認ができるからでもあるのです。「おため」「おうつり」は、先様の心を気持ちよく頂戴するために考えられたものであり、人と人とのつながりの大事さ、大切さを伝えていくためのものでもあります。

HIRAIWA

私たちは皆様と共に成長していけることを願っています。

学校の象徴に欠かせない 学校旗

消防団の士気に欠かせない 消防団旗

勝利の証に欠かせない 優勝旗

効果のある PR グッズの定番は オリジナル のぼり旗

イメージ UP 戦略グッズの定番は オリジナル ピンバッジ

地域のお祭りに大活躍する 祭袢天

印旗・横断幕　腕章＆タスキ　神社仏閣幕

今すぐ、アクセス！ 京都　平岩

株式会社　平　岩

〒604-0907　京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL　075-222-1041

＊配信停止をご希望の方はお手数ですが、弊社まで「配信停止」とご記入いただきご返信ください。